



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リアルビジョン  
 コード番号 6786 URL <http://realvision.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 池畑 勝治  
 (氏名) 斉藤 順市

TEL 045-473-7331

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	102	△13.1	△123	—	△138	—	△251	—
24年3月期第3四半期	117	△92.0	△166	—	△203	—	△204	—

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 △238百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △238百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	△5,156.33	—
24年3月期第3四半期	△4,964.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第3四半期	787	727	92.5	14,798.90
24年3月期	—	—	—	—

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 727百万円 24年3月期 1百万円

(注)平成24年3月期は連結貸借対照表を作成していないため、記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	230	41.1	△120	—	△145	—	△260	—	△5,324.02

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 (社名) 株式会社ソーシステム、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、四半期決算短信【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	49,187 株	24年3月期	41,187 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1 株	24年3月期	1 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	48,720 株	24年3月期3Q	41,186 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】3ページ「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間において、当社は、平成24年11月28日付で株式会社シスウェブホールディングスより組込ソリューション事業を営む株式会社ソアシステム（以下、ソア社）の全株式を取得したことに伴い、同社を連結の範囲に含めることとし、当第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成することとなりました。

なお、当第3四半期連結会計期間は、四半期貸借対照表及び取得日から平成24年12月31日までの損益計算書を連結しております。

これに伴い、従来の「グラフィックス関連」、「部材関連」に「組込ソリューション関連」を加えた3事業を営むこととなりました。セグメント別の詳細は「4. 四半期連結財務諸表 (5) セグメント情報等」に記載のとおりであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災に関連した復興需要やエコカー補助金等の経済政策により緩やかながら景気回復の兆しが見られたものの、依然厳しい雇用情勢とともに、海外経済の低迷や近隣諸国との関係悪化に伴う海外需要の減少等により経済情勢は非常に不安定な状況で推移しております。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高102,369千円（前年同期比13.1%減）、営業損失123,431千円（前年同期営業損失166,838千円）、経常損失138,163千円（前年同期経常損失203,391千円）を計上いたしました。また、売買代金請求訴訟の和解成立により、和解金及び訴訟関連費用112,342千円を訴訟和解金として特別損失に計上したため、四半期純損失251,219千円（前年同期四半期純損失204,455千円）となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

#### 1) グラフィックス関連

産業用グラフィックス事業につき、医療事業の拡大を図る国際的な大手優良メーカーと共同開発を継続して進めると共に、当社独自技術のFVT（注）を搭載した新製品について、当第3四半期より販売を開始いたしました。アミューズメント事業は、遊技機器関連企業からの受託開発の獲得に向け引き続き営業を行っております。また、「JIGENシリーズ+Racroix」の技術をベースに、POS、医療用情報端末及び券売機等の新規用途への展開も進めております。

この結果、売上高54,863千円（前年同期比33.9%減）、セグメント損失39,523千円（前年同期セグメント損失56,978千円）となりました。

#### 2) 組込ソリューション関連

当第3四半期連結会計期間において、株式取得により子会社化したソア社により、プリンタ、通信機器等の組込機器、検査装置の開発販売及びポータルWEBサイト構築、サーバー運用保守等を行いました。

この結果、売上高39,331千円、セグメント利益489千円となりました。

#### 3) 部材関連

円高の定着等で、引続き顧客が他国から部材関連を輸入しているため、売上は低迷いたしました。

この結果、売上高8,173千円（前年同期比76.6%減）、セグメント利益67千円（前年同期比79.1%減）、となりました。

（注）FVT（ファインビューテクノロジー）

当社が独自開発した、デジタル医用画像を汎用モニタ上で実現するための技術。DICOMキャリブレーションや、輝度均一化制御、モニタ管理機能等を汎用モニタで実現することができる。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、787,310千円となりました。主な内訳は、現金及び預金237,981千円、ソア社株式取得に係るのれん179,149千円、関係会社株式308,454千円であります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、59,412千円となりました。主な内訳は、退職給付引当金9,885千円、支払手形及び買掛金6,311千円であります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、727,898千円となりました。主な内訳は、資本金1,247,549千円、利益剰余金△407,747千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月27日に公表した連結業績予想からの変更はありません。今後、販売及び受注等の状況に応じ、開示ルールに従い、適時、公表してまいります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、株式会社ソアーシステムを連結の範囲に含め、四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、当第3四半期連結会計期間は、四半期貸借対照表及び取得日から平成24年12月31日までの損益計算書を連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、平成14年3月期より前連結会計年度まで継続して当期純損失を計上し、当第3四半期連結累計期間も四半期純損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社は、当該状況を解消すべく、主業務のグラフィックス関連事業の収益化を早期に図る方針であります。収益化の具体的な施策といたしまして、グラフィックス関連事業の内、産業用グラフィックス事業では、医用及び航空管制向けの市場は堅調に拡大しており、新製品の投入等により売上の伸長を図ってまいります。アミューズメント事業では、できるだけ早期に「JIGEN-301」の量産化を目指しております。また、「JIGENシリーズ+Racroix」の技術をベースに、POS、医療用情報端末及び券売機等の組込機器等の新規用途への展開も進めてまいります。

当社は、平成24年9月に株式会社シスウェブホールディングス（以下、シスウェブHD）と資本業務提携契約を締結し、両社の企業価値向上に向けた取組について協議を重ねて参りました。当社は、前述のとおり、多様な組込機器への展開を推進するにあたり、技術リソースの確保は重要な課題になっております。一方、シスウェブHDの100%子会社で同社グループにおいて組込ソリューション事業を担う株式会社ソアーシステム（以下、ソアー社）は、長い業歴を誇り、様々な顧客要求を通じて確立したハードウェア・ソフトウェアの協調設計技術を確立しており、近年はサーバ/クライアントシステムの制御ソフトの開発、環境構築及び運用保守等のネットワーク業務等システムへも事業範囲を拡大しております。よって、当社とソアー社の技術的親和性及びシナジー効果は高く、当面の多様な組込機器への事業展開、さらに、将来的に予想される組込機器のネットワーク化等システム全体の顧客ニーズへの対応が図れることが期待できます。その実現には、技術リソースの確保と効率的な活用が不可欠であり、さらに踏み込んだ関係構築が必要であるとの考えに至りました。

このような理由から、当社は、シスウェブHDよりソアー社の全株式を平成24年11月28日付で取得し、連結子会社といたしました。

今後、ソアー社の技術リソースを効率よく活用し、多様な組込機器への事業展開に止まらず、将来的に予想される組込機器のネットワーク化等システム全体の顧客ニーズに対し迅速に対応を行い、前述の主業務のグラフィックス関連事業の収益化に向けた具体的な施策を実現してまいります。

なお、当社は、当該施策を実行するためのキャッシュは現在、確保しており、当第3四半期連結会計期間において継続企業の前提に関する重要な不確実性はないものと判断しております。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
 (平成24年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	237,981
受取手形及び売掛金	59,834
商品及び製品	45,402
仕掛品	13,702
その他	13,932
流動資産合計	370,853
固定資産	
有形固定資産	12,259
無形固定資産	
のれん	179,149
その他	10,054
無形固定資産合計	189,203
投資その他の資産	
投資有価証券	46,006
関係会社株式	308,454
その他	19,169
貸倒引当金	△11,939
投資損失引当金	△146,696
投資その他の資産合計	214,993
固定資産合計	416,457
資産合計	787,310
負債の部	
流動負債	
支払手形及び買掛金	6,311
未払法人税等	1,179
賞与引当金	5,041
その他	29,931
流動負債合計	42,464
固定負債	
退職給付引当金	9,885
資産除去債務	3,830
その他	3,232
固定負債合計	16,948
負債合計	59,412

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間  
(平成24年12月31日)

純資産の部	
株主資本	
資本金	1,247,549
利益剰余金	△407,747
自己株式	△185
株主資本合計	839,616
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	△9,939
為替換算調整勘定	△101,778
その他の包括利益累計額合計	△111,717
純資産合計	727,898
負債純資産合計	787,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	117,851	102,369
売上原価	65,159	86,105
売上総利益	52,692	16,263
販売費及び一般管理費	219,530	139,694
営業損失(△)	△166,838	△123,431
営業外収益		
受取利息	5,317	50
受取配当金	2,070	1,982
為替差益	—	5,969
その他	1,126	4
営業外収益合計	8,515	8,006
営業外費用		
新株発行費	—	761
為替差損	18,526	—
持分法による投資損失	22,119	21,809
その他	4,422	167
営業外費用合計	45,068	22,739
経常損失(△)	△203,391	△138,163
特別損失		
訴訟和解金	—	112,342
特別損失合計	—	112,342
税金等調整前四半期純損失(△)	△203,391	△250,506
法人税、住民税及び事業税	1,063	712
法人税等合計	1,063	712
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△204,455	△251,219
四半期純損失(△)	△204,455	△251,219

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△204,455	△251,219
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,069	2,933
持分法適用会社に対する持分相当額	△19,235	10,038
その他の包括利益合計	△34,305	12,972
四半期包括利益	△238,760	△238,246
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△238,760	△238,246
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年4月17日を払込期日とする第三者割当による新株式8,000株（発行価格12,950円、資本組入額6,475円）の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ51,800千円増加しております。

また、平成24年6月26日開催の定時株主総会決議により、平成24年6月30日付で会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金を減少させ、その他資本剰余金に振替えた後、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を減少し、繰越利益剰余金に振替え、欠損填補を行っております。この結果、資本金が1,826,975千円（減資割合59.42%）、資本準備金が3,541,024千円（同100.00%）減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,247,549千円となっております。

さらに、当第3四半期連結会計期間より連結範囲の変更を行ったことにより、当第3四半期連結会計期間において利益剰余金が前連結会計年度末に比べ156,528千円減少しております。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グラフィックス 関連	部材関連	計		
売上高					
外部顧客への売上高	82,975	34,876	117,851	—	117,851
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	82,975	34,876	117,851	—	117,851
セグメント利益又は損失(△)	△56,978	320	△56,657	△110,181	△166,838

(注) 1. セグメント損益の調整額△110,181千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△110,181千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	グラフィック ス関連	組込ソリュー ーション 関連	部材関連	計		
売上高						
外部顧客への売上高	54,863	39,331	8,173	102,369	—	102,369
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	54,863	39,331	8,173	102,369	—	102,369
セグメント利益又は損失 (△)	△39,523	489	67	△38,965	△84,465	△123,431

(注) 1. セグメント損益の調整額△84,465千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△84,465千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、従来、「グラフィックス関連」及び「部材関連」の2事業を報告セグメントとしておりましたが、平成24年11月28日付で組込ソリューション事業を営む株式会社ソアーシステムを連結子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間から、新たに「組込ソリューション関連」を報告セグメントに加えた3事業に区分を変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「組込ソリューション関連」セグメントにおいて、株式会社ソアーシステムを連結子会社化したことに伴い、当第3四半期連結会計期間においてのれんが182,185千円発生しております。